

「T.Oのボス」としての役割」

西村 太一 (ゲームコミッショナー)

<“T.O”のボス”としての役割>

得点やファウル数、試合時間、選手交代などを管理し、試合を進行するテーブル・オフィシャルズ (T.O) 。そのT.Oとコート上の審判員を、試合の最高責任者として統括するのが「ゲームコミッショナー」(GC) だ。

パラリンピックと同じく4年に一度、「世界一」を決める大舞台である世界選手権のGCの一人に選ばれたのが西村太一さん。世界選手権は今回が2度目となる。

「特に注意しなければいけないのは、車いすバスケ特有の持ち点（コート上の5人の合計が14点以内）もありますが、トラブルで電光掲示板のタイムがきちんと進んでいなかったりすることもあるんです」

そんな細部にわたり、コート上で起こるすべてのことに目を配らせなければいけないのがGCだ。時にはチームのコーチが強くアピールしてくることもある。そんな時は、冷静に判断し、説得したり、なだめたり。「T.Oのボスとして、うまく対処することが必要です」と西村さん。最も大事なものは、正当に勝敗を分けることにあるという。

「試合後に『ナイスゲームだったね』と、その場にいる人たち全員が納得の気持ちになれること。そのためにルールに則って、真摯にゲームコントロールするのがGCの仕事です」

西村さんにとって最も喜びを感じるのは、試合終了後、T.Oとともに「Good job!」とお互いに称えあう瞬間だ。時には円陣を組むこともあるという。

「私たちGCとT.Oとは、一つのチームのようなものなんです。今回も大会の成功を願い、その一助となれるように役割を果たしたいと思います」

